

第44期 中間株主通信

2022年4月1日から2022年9月30日まで



©CAPCOM

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第44期中間期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の事業の概況と業績についてご報告申し上げます。

当中間期(第2四半期連結累計期間)におきましては、進化と拡大を続けるグローバル市場に対応するため、デジタル販売の強化を主軸とした成長投資を積極的に推し進めました。また、安定的、持続的な成長を確固たるものとするため、経営上の優先課題である人材投資戦略について、人事関連組織の再編や最高人事責任者(CHO)の新設、報酬制度の改定などの具体的な施策を実施し、企業価値の向上を図ってまいりました。

このような経営方針のもと、中核事業であるデジタルコンテンツ事業において、主力シリーズの大型タイトルの投入や、デジタル販売を通じたリピートタイトルの継続的な販売強化により、グローバルでの販売本数の増加を図り、当社コンテンツの価値向上に注力しました。これにより、当中間期におけるデジタルコンテンツ事業の販売本数は、2,130万本と前年同期1,980万本を上回りました。さらに、これらの主力コンテンツと映像やライセンス商品、eスポーツとの連携を強化するとともに、アミューズメント施設事業やアミューズメント機器事業との協働を進め、業績の安定的な拡大に努めました。

この結果、前年同期の新作大型タイトル販売により反動減となりましたものの、当中間期の売上高は490億67百万円(前年同期比29.9%減)、営業利益は218億95百万円(前年同期比24.3%減)、経常利益は229億96百万円(前年同期比22.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は161億42百万円(前年同期比27.4%減)となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株当たり23円とさせていただきます。

今後、下期における新規タイトル販売などの施策により、今期の計画達成に向けて注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



辻本 憲三



辻本 春弘

2022年11月

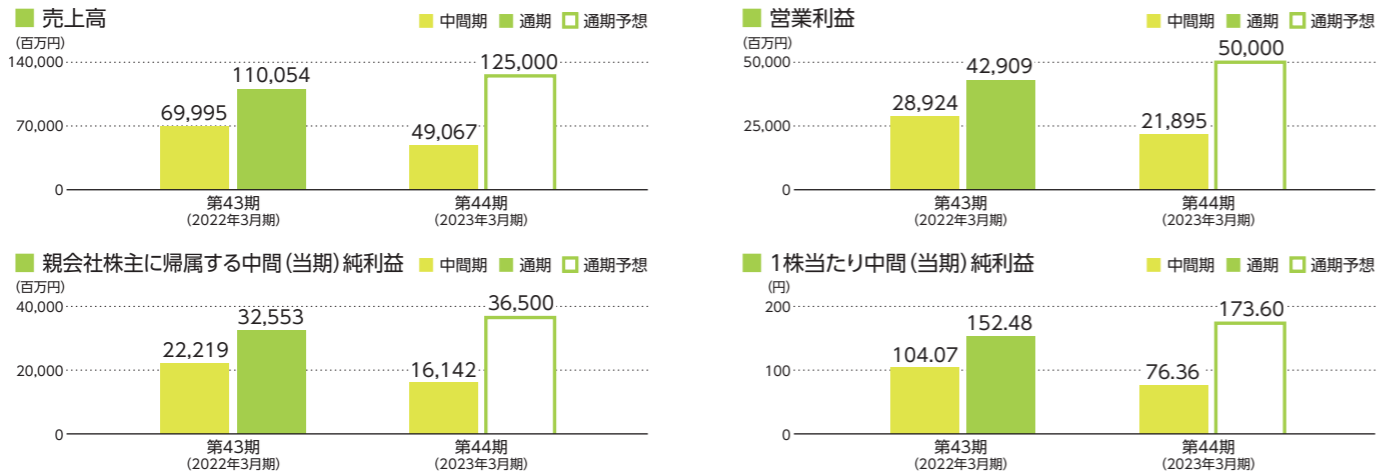
代表取締役会長
最高経営責任者(CEO)

辻本 憲三

代表取締役社長
社長執行役員
最高執行責任者(COO)

辻本 春弘

決算ハイライト



事業の概況

デジタルコンテンツ事業

2021年3月に発売した『モンスターハンターライズ』の超大型有料拡張コンテンツ『モンスターハンターライズ：サンブレイク』(Nintendo Switch、パソコン用)を6月に発売し、より軽快に進化したアクションや個性あふれるモンスターとフィールドの登場等により、グローバルで高い評価を得るとともに、無料タイトルアップデート等の施策により安定した人気を集めました。その結果、販売本数440万本を達成し、業績に大きく貢献しました。加えて、『モンスターハンターライズ』も、『モンスターハンターライズ：サンブレイク』とのセット版の投入や継続的な価格施策により、全世界での累計販売本数が1,100万本を突破しました。

さらに、積極的なプロモーションによるIPの認知拡大と新たなファン層の獲得に加え、主力シリーズの継続的な新作タイトル販売やセール販売との相乗効果による『モンスターハンター：ワールド』や『デビルメイクライ 5』など、シリーズの過去タイトル等を中心としたリピートタイトルの販売拡大が収益を押し上げました。

また、3年ぶりのリアル会場とオンラインを用いてハイブリッド開催となった「東京ゲームショー2022」が9月に開催され、当社出展ブースが活況を呈しました。加えて、同期間中にオンライン配信にて発表された「日本ゲーム大賞2022」において、『バイオハザード ヴィレッジ』が年間作品部門で「優秀賞」を受賞するとともに、フューチャー部門で『ストリートファイター6』、『エグゾプライマル』および『ロックマンエグゼアドバンスドコレクション』の3タイトルが選出され、今後のタイトル販売に弾みをつけました。

この結果、前年同期において新作大型タイトルを販売したことにより反動減となりましたものの、売上高は360億62百万円(前年同期比39.7%減)、営業利益は218億26百万円(前年同期比27.8%減)となりました。



『モンスターハンターライズ：サンブレイク』



『モンスターハンターライズ』

アミューズメント施設事業

今年3月のまん延防止等重点措置の全面解除による来店客数の回復に加え、既存店の効率的な店舗運営や新業態での出店効果などにより収益拡大を図り、前年同期比で増収増益となりました。

当中間期において、4月に「クレイジーバネット イオンモール常滑店」(愛知県)をオープンするとともに、9月に1店舗を閉鎖しましたので、施設数は42店舗となっております。

この結果、売上高は73億23百万円(前年同期比29.7%増)、営業利益は6億77百万円(前年同期比845.1%増)となりました。



「クレイジーバネット イオンモール常滑店」(愛知県)

アミューズメント機器事業



『新鬼武者2』



『バイオハザード RE:2』

厳しい市場環境の中、8月に『新鬼武者2』を10千台発売するとともに、市場から高評価を獲得し好調に稼働しました。また、10月3日稼働開始の『バイオハザード RE:2』を9月に15千台出荷し、収益に大きく貢献しました。

この結果、売上高は30億23百万円(前年同期比87.6%増)、営業利益は17億21百万円(前年同期比343.4%増)となりました。

その他事業

当社タイトルのブランド価値向上に向け、Netflixにおいて実写ドラマシリーズ『バイオハザード』が全世界で配信されるなど、引き続き主力IPを活用した映像化を推進するとともに、新規タイトルや人気タイトルのキャラクターグッズ展開などに注力しました。

一方、eスポーツにおいては、グローバル規模でのユーザー層の裾野拡大に向けた施策を推し進め、世界各地で開催するオンライン大会「CAPCOM Pro Tour 2022」を5月から開始し、7月から同大会の新カテゴリー「ワールドウォリアー」を追加するなど、開催地域と参加者の多様化施策を講じました。また、国内でのチームリーグ戦「ストリートファイターリーグ：Pro-JP 2022」を9月から実施するなど、各大会において熱戦が繰り広げられるとともに、2023年発売予定の『ストリートファイター6』のプロモーション展開を図りました。

この結果、売上高は26億57百万円(前年同期比9.4%減)、営業利益は12億58百万円(前年同期比8.2%減)となりました。



「ストリートファイターリーグ：Pro-JP 2022」

会社の概要

(2022年9月30日現在)

社名	株式会社 カパコン (CAPCOM CO., LTD.)
設立	1979年5月30日
創業	1983年6月11日
主要な事業内容	家庭用テレビゲームソフト、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売、配信ならびにアミューズメント施設の運営
資本金	332億39百万円
従業員数	連結3,346名(単体3,041名)
ウェブサイト	https://www.capcom.co.jp/

取締役および監査等委員である取締役 (2022年9月30日現在)

代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)	辻本憲三
代表取締役社長 社長執行役員 最高執行責任者(COO)	辻本春弘
取締役 副社長執行役員 最高人事責任者(CHO)	宮崎智史
取締役 専務執行役員	江川陽一
取締役 専務執行役員 最高財務責任者(CFO)	野村謙吉
取締役 専務執行役員	石田義則
取締役 専務執行役員	辻本良三
社外取締役	村中徹
社外取締役	水越豊
社外取締役	小谷渉
社外取締役	武藤敏郎
社外取締役	廣瀬由美
取締役 (常勤監査等委員)	平尾一氏
社外取締役 (常勤監査等委員)	岩崎吉彦
社外取締役 (監査等委員)	松尾眞

株式の状況

(2022年9月30日現在)

■発行可能株式総数	600,000,000株
■発行済株式の総数	266,505,623株
■株主数	18,155名
■大株主(上位10名)	

株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32,558	15.28
株式会社クロスロード	21,365	10.03
ジェーピーモルガンチェースバンク380815	17,594	8.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	12,382	5.81
辻本美之	8,077	3.79
辻本春弘	6,199	2.91
辻本良三	6,183	2.90
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	5,960	2.80
辻本憲三	4,039	1.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・76744口)	4,000	1.88

(注) 持株比率については、自己株式数(53,394千株)を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	T541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	電子公告 当社のウェブサイト(https://www.capcom.co.jp/)に掲載します。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主総会資料の電子提供について

会社法改正により、株主総会資料の電子提供制度が施行されました。当該制度に関するリーフレットを同封しておりますので、ご参照ください。

IRサイトのご案内



当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ウェブサイトを活用したIR活動にも注力しております。ここでは、株式情報や経営戦略に加え、販売データやアナリストの評価など様々な情報提供を行っております。

スマートフォンからもIR情報へアクセス

QRコードの読み取りに対応したスマートフォンをお持ちの方は、右の画像を読み込むことで簡単にIRサイトにアクセスできます。

<https://www.capcom.co.jp/ir/>



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

